

感謝の気持ちを音楽にのせて

# サンクスコンサート

2025

インストラクターが日頃の感謝の気持ちを込めて演奏します

## PROGRAM



開催日 2025年7月6日㈰ 会場 王子ホール

第1部 開場 12:00 / 開演 12:30 第2部 開場 16:30 / 開演 17:00

# PROGRAM

## ご挨拶

盛夏の候、皆様におかれましてはますます健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は島村楽器株式会社をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

また本日は「島村楽器 サンクスコンサート」の会場へのご来場、ならびに配信のご視聴をいただき、重ねて御礼申し上げます。

島村楽器は1962年、音楽教室の運営から歩みを始めました。そして今日まで皆さまの温かなご支援を賜り、全国40都道府県に楽器販売店舗および音楽教室を展開しております。弊社には創業当時に掲げた「音楽の楽しさを提供し、音楽を楽しむ人を1人でも多く創る」という理念がございます。音楽教室の指導者は、この理念の実現に向けてレッスンを提供しております。本コンサートは、そうした指導者をより多くの方に知っていただき、演奏をお届けしたいという思いからスタートいたしました。

2018年2月から始まりました本コンサートは、これまでに関東地区で5回、近畿地区で4回、九州地区で2回、合わせて計11回の開催を行ってまいりました。また、2021年からは関東地区での公演においてオンライン配信も開始し、本格的な演奏を全国の皆さんにご覧いただける機会として、毎回ご好評をいただいております。本日の王子ホールでの公演におきましても、会場でのご観覧に加え、オンラインでのリアルタイム配信、そして1週間のアーカイブ配信を予定しており、より多くの方々にお楽しみいただけることを願っております。

島村楽器のインストラクターは、「良き指導者であり、良き演奏者でもある」ことをモットーに、指導スキルだけでなく演奏力の向上にも研鑽を重ねております。本コンサート出演者も普段は全国各地のミュージックサロンでレッスンを担当しておりますが、本日は演奏者として、日頃の感謝の気持ちを込めて演奏いたします。

最後になりますが、「島村楽器 サンクスコンサート」開催にあたり、深いご理解とご協力を賜りました音楽教室会員の皆様、そしてご来場・ご視聴いただいております皆様に心より御礼申し上げます。

どうぞ最後まで「島村楽器 サンクスコンサート」をお楽しみください。

2025年7月

島村楽器株式会社

代表取締役社長 廣瀬 利明

## 第1部

REQUIEBROS / G.カサド

想いの届く日 / C.ガルデル(啼鶲編曲)

サックス:樋口 真李乃 伴奏:吉武 栄里子

夜想曲 / C.ドビュッシー

モスクワの思い出 Op.6 / H.ヴィエニヤフスキ

ピアノ:林 亜友未

セイリオス / 村田 淳一

ヴァイオリン:山岸 沙紀 伴奏:天野 真幸

無伴奏フルートのためのパルティータ BWV1013 / J.S.バッハ

サックス:村田 淳一 伴奏:北島 由佳

ピアソナタ 第2番 Op.22 第1楽章 / R.シューマン

フルート:仙台 歩夢

ソナチネ 第1楽章、第3楽章 / M.ラヴェル

ピアノ:貞嶋 佑麻

「2本のサックスの為の組曲」より II、III / 西村 友

ピアノ:吉武 栄里子

ピアソナタ 第32番 Op.111 第1楽章 / L.v.ベートーヴェン

サックス:石沢 路和 / 堂森 拓哉 伴奏:小林 麻穂

「ミニヨン」の主題によるグランドファンタジー / P.タファネル

ピアノ:廣瀬 春華

舟歌 Op.60 / F.F.ショパン

フルート:伊藤 向莉 伴奏:福永 美梨

「天国の月」より II / 長生 淳

ピアノ:天野 真幸

## 第2部

「魔弾の射手」による幻想曲 / P.タファネル

フルート:秋山 貴之 伴奏:山崎 亜耶乃

スペイン交響曲 Op.21 第1楽章 / E.ラロ

ヴァイオリン:池上 奈那 伴奏:関 和花奈

「リゴレット」による演奏会用バラフレーズ / F.リスト

ピアノ:服部 亜美

「クーブランの墓」より プレリュード / M.ラヴェル

サックス:佐藤 愛 伴奏:引田 祐子

亡き王女のためのパヴァーヌ / M.ラヴェル

ピアノ:大野 有咲

ドゥムカ ～ロシアの農村風景～ Op.59 / P.I.チャイコフスキイ

サックス:吉永 尚子 伴奏:林田 彩愛

想いの届く日 / C.ガルデル(啼鶲編曲)

ピアノ:山崎 亜耶乃

Down down down / 石毛 里佳

フルート:井手 愛菜 / 宮下 莉奈 伴奏:深町 優莉恵

「夜のガスパール」より 第1曲 オンディース / M.ラヴェル

ピアノ:関 和花奈

2本のフルートとピアノのための協奏的三重奏曲 Op.119 第1楽章 / F.クーラウ

サックス:尾中 勇太 伴奏:梅原 恵美

幻想曲「スコットランド・ソナタ」Op.28 第2楽章、第3楽章 / F.メンデルスゾーン

ピアノ:秋本 韶子

風の向かうところ / 成田 勤

フルート:成田 勤

バラード 第3番 Op.47 / F.F.ショパン

ピアノ:成田 勤

# 第1部

演奏曲目解説  
演奏者メッセージ  
プロフィール

## REQUIEBROS / G.カサド サックス:樋口 真李乃 伴奏:吉武 栄里子

作曲家のG.カサド(1897-1966)は、20世紀前半で最も影響力のあるスペイン出身のチェリストです。作曲家としても活動し、最晩年には若い才能の発掘にも熱意を示しました。「REQUIEBROS」はチェロ曲の中でも代表的な作品で、師であるカザルスに贈られたものです。明るい雰囲気の旋律で始まり、スペインの情熱を感じさせる曲です。

**演奏者よりメッセージ** カサドのREQUIEBROSはサンクスコンサートに初めて出演した際にも演奏させていただきました。原曲はチェロとピアノのための作品ですが、今回はアルトサックスとピアノによる表現豊かな演奏をお楽しみください。

## 想いの届く日 / C.ガルデル(啼鶴編曲) サックス:樋口 真李乃 伴奏:吉武 栄里子

アルゼンチン・タンゴ界で、歌手・俳優・作曲家として多彩な活動で知られるC.ガルデルが1935年に発表した名曲を、啼鶴氏が須川展也氏のために編曲しました。美しく切ないメロディーラインが印象的で、ロマンティックな作品です。原曲の歌詞では、愛が叶う日が訪れたときに、世界がどれほど美しく輝かかが描かれています。

**演奏者よりメッセージ** サンクスコンサート、まさに今日という日が、皆様へ“想いの届く日”だと思っています。この曲の世界に皆様を引き込めるよう、日頃の感謝の気持ちを込めて演奏したいと思います。



樋口 真李乃 Higuchi Marino (グランフロント大阪店)

3歳からピアノを始め、11歳でサックスを始める。中学では吹奏楽コンクール全国大会に出場、高校ではアンサンブルコンクール関西大会に出場。大阪音楽大学音楽学部音楽学科管楽器専攻卒業。様々な演奏会に出演し、音楽活動を盛んに行う。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。サックスを井上麻子氏に師事。神戸新人音楽賞コンクール入選。KOBE国際音楽コンクール入選。

## 夜想曲 / C.ドビュッシー ピアノ:林 亜友未

ドビュッシーは「印象派音楽」の旗手として名を馳せた作曲家です。印象派音楽とは、モネなどの印象派絵画から着想を得たもので、瞬間の感覚や自然の移ろい、風景の雰囲気を音で描き出すスタイルを指します。ダンパー・ペダルとソフト・ペダルの多用と、音としては聴こえないが運指は行うサイレント演奏「muettes(ミュエット)」という奏法によって、夜の神秘性や、音の色彩・陰影が見事に表現されています。

**演奏者よりメッセージ** 日々、大人の会員様のレッスンを担当させていただく中で、楽器演奏とは単なる技術の集合体ではなく、演奏者の経験や人生そのものを映し出す鏡であるということを改めて深く実感しています。ピアノと出会って30年が経ちました。心を込めて演奏いたします。



林 亜友未 Hayashi Ayumi (川崎ルフロン店)

神奈川県横浜市出身。4歳からピアノをはじめる。東京音楽大学付属高等学校を経て、同大学音楽学部器楽専攻ピアノ科卒業。これまでにピアノを、河野康子、武田真理、島田美穂の各氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

## モスクワの思い出 Op.6 / H.ヴィエニヤフスキ ヴァイオリン:山岸 沙紀 伴奏:天野 真幸

H.ヴィエニヤフスキが、ロシアへ演奏旅行した際に耳にしたロシア民謡をもとに作曲しました。曲中では、ロシア民謡の名曲としても愛されている「赤いサラファン」と「馬に鞍を付けて」の2曲がモチーフとなっています。哀愁を帯びた美しい旋律と高音での重音・ハーモニックスなど高度な技巧が駆使されている作品をお楽しみください。

**演奏者よりメッセージ** 憧れの曲を、素敵な舞台で演奏する貴重な機会をいただけたことをとても感謝しています。ヴィエニヤフスキらしい技巧と豊かな表情によって変化していくヴァイオリンの音色は、この作品の大きな魅力です。情景が皆様に伝わるよう、心を込めて演奏いたします。



山岸 沙紀 Yamagishi Saki (横浜みなとみらい店)

3歳よりヴァイオリンを始める。ズスキ・メソード全教育課程を経て、日本大学芸術学部音楽学科弦管打楽コースヴァイオリン専攻を卒業。大学在学中、井上淑子氏に師事。また、在学中からブライタル演奏など演奏活動を行う。現在は、ボランティア演奏やコンサートなど幅広い活動を行う。

## セイリオス / 村田 淳一 サックス:村田 淳一 伴奏:北島 由佳

セイリオスは、一等星であるシリウスの語源となったラテン語で『光り輝くもの』や『焼き焦がすもの』といった意味を持ちます。速い三拍子を基調とした第一部と、変拍子や特殊奏法を盛り込んだ第二部という構成で、サクソフォーンの幅広い表現力を用いた作品となっています。

**演奏者よりメッセージ** 変拍子をなるべく自然な形で演奏できるように、こだわって作曲しました。自分の好きな作風を皆様にもお楽しんでいただければ嬉しいです。



村田 淳一 Murata Junichi (長野店)

昭和音楽大学音楽学部器楽学科(サクソフォーン専攻)卒業。小諸高校音楽科在学時、第6回ジュニアサクソフォーンコンクール第2位受賞。大学在学時、学内演奏会に出演。長野県新人演奏会に出演。サックスを故 新井靖志、榮村正吾室内楽を故 新井靖志、武藤賢一郎の各氏に師事。また作編曲者としても活動を行い、NASA(北米サクソフォーンアライアンス)など国内外を問わず作品が取り上げられる。

## 無いの届く日 / C.ガルデル(啼鶴編曲) サックス:樋口 真李乃 伴奏:吉武 栄里子

アルゼンチン・タンゴ界で、歌手・俳優・作曲家として多彩な活動で知られるC.ガルデルが1935年に発表した名曲を、啼鶴氏が須川展也氏のために編曲しました。美しく切ないメロディーラインが印象的で、ロマンティックな作品です。原曲の歌詞では、愛が叶う日が訪れたときに、世界がどれほど美しく輝かかが描かれています。

**演奏者よりメッセージ** サンクスコンサート、まさに今日という日が、皆様へ“想いの届く日”だと思っています。この曲の世界に皆様を引き込めるよう、日頃の感謝の気持ちを込めて演奏したいと思います。



仙台 歩夢 Sendai Ayumu (仙台長町モール店)

常盤木学園高等学校音楽科、山形大学地域教育文化学部音楽芸術コース卒業。第7回横浜国際音楽コンクール管楽器部門高校生の部第1位。第23回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール木管楽器部門高校生の部第2位。第24回山形県出身者新人演奏会に出演。これまでにフルートを、山司美恵、芦澤暁男、瀬尾和紀、佐久間由美子、足達祥治の各氏に師事。

## ピアノソナタ 第2番 Op.22 第1楽章 / R.シューマン ピアノ:貞嶋 佑麻

シューマンは、ソナタのような形式的な枠組には中々当てはまらない幻想的な作品を数多く残していますが、この作品はコンパクトにまとめられたソナタらしい1曲です。シューマン特有の劇的でエネルギーが強い主題と、繊細で柔らかな雰囲気の中間部分との対比が特徴的です。

**演奏者よりメッセージ** 大学生の頃に一度演奏し、とても苦労したこの曲に、もう一度挑戦したいと思い選曲しました。このような貴重な機会をいただけたことに感謝し、学生時代とはまた違う感性で、1音1音を大切に演奏したいと思います。



貞嶋 佑麻 Sadashima Yuma (岩田屋福岡店)

佐賀県出身。洗足学園音楽大学音楽学部ピアノコース卒業。2020年「ピアノコース特別選抜演奏者」認定。第2回同大学内ピアノコンクール第2位。第62回佐賀県新人演奏会にて音楽協会新人奨励賞受賞。在学中はピアノソロ他、室内楽、伴奏法も学ぶ。これまでに故執行みづほ、鍵沢昌生、江崎昌子の各氏に師事。

## ソナチネ 第1楽章、第3楽章 / M.ラヴェル ピアノ:吉武 栄里子

ラヴェル作曲「ソナチネ」は、音楽雑誌主催の作曲コンクールのために書かれた曲です。本日演奏する第1楽章はソナタ形式で、繊細な輝きを放つメロディーが叙情的に歌われます。第3楽章は自由なロンド形式で、快活なパッセージとともに第1楽章の主題が和声やリズムの変化と共に登場します。

**演奏者よりメッセージ** ラヴェル生誕150年のメモリアルイヤーに、大好きな作品をこの舞台で演奏できることをとても嬉しく思います。色彩豊かな和音の変化をお楽しみいただけるよう、心を込めて演奏いたします。



吉武 栄里子 Yoshitake Eriko (グランフロント大阪店)

大阪府出身。同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻鍵盤楽器コース(ピアノ)卒業。在学時より管楽器、弦楽器、声楽のピアノ伴奏や室内楽を経験し、現在に至るまで多数のコンクールや演奏会に出演。ヤマハ演奏・指導グレード4級、中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。これまでにピアノを松原敬子、斎藤宏子の各氏に師事。

## 「2本のサックスの為の組曲」より II、III / 西村 友 サックス:石沢 路和 / 堂森 拓哉 伴奏:小林 麻穂

西村友は、日本の指揮者であり、作曲家としても活動しています。この曲は、サクソフォーン奏者の田村真寛氏の委嘱により、2011年に作曲されました。第2楽章は東日本大震災後に書かれた作品を元に「祈り」をテーマに作曲され、第3楽章は「交錯、相互作用」を意味し2本のサックスが絡み合いながら、技巧的なパッセージを繰り返す緊張感のある楽章となっています。

**演奏者よりメッセージ** 第2楽章では静かでありながら温かく美しいメロディを、第3楽章では2つの楽器が織りなすメロディの動きと、会話のような掛け合いをお届けします。デュオならではの演奏を味わっていただければ幸いです。



石沢 路和 Ishizawa Michikazu (イオンレイクタウン店)

武蔵野音楽学院、東邦音楽大学音楽学部音楽学科サクソフォーン専攻を卒業。サックス、室内楽を佐々木雄二氏、吹奏楽を百瀬和紀氏に師事。卒業生選抜演奏会、山形県新人演奏会に選出。またPOPS、JAZZ等ジャンルを問わず演奏に参加。その他ラ・フォル・ジュルネTOKYO出演。アルソ出版「THE SAX」にて誌上レッスンを連載。



堂森 拓哉 Domori Takuya (かわぐちキャスティ店)

福井県出身。昭和音楽大学音楽学部器楽学科卒業。これまでにサックスを田端直美、陣内亜紀子、福本信太朗、野原武伸の各氏に師事。第71回福井県音楽コンクール管楽部門大学・一般の部にて知事賞、団体ではTHE 50th YAMANO BIG BAND JAZZ CONTESTにてJ-WAVE賞など、その他にも数多くの受賞歴を持つ。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

## ピアノソナタ 第32番 Op.111 第1楽章 / L.v.ベートーヴェン ピアノ:廣瀬 春華

56年の生涯のうち、約40年にわたり32曲のピアノソナタを残したベートーヴェン。ソナタ形式を研究し続けた彼が晩年に到達したのは、フーガや変奏を用いた技法でした。セット作品として構想された最後の3つのソナタOp.109~111はその晩年様式の代表で、この曲の第1楽章もフーガ的要素を含んだ発展的なソナタ形式で書かれています。

**演奏者よりメッセージ** 久々にサンクスコンサートの舞台に立つことができ、大変光栄です。ベートーヴェンの「難しさの中にある美しさ」が皆様に伝わるよう、心を込めて演奏いたします。



廣瀬 春華 Hirose Haruka (八王子オクトーレ店)

北海道室蘭市出身。6歳よりピアノを始める。東京音楽大学音楽学部ピアノ専攻ピアノ演奏家コース卒業。第12回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会一般部門銀賞(金賞なし)受賞。ピアノソロを武田真理、土田英介、樋口愛各氏に師事。伴奏法を水谷真理子、谷池重紗子各氏に、室内楽を伊賀あゆみ氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

## 「ミニヨン」の主題によるグランドファンタジー / P.タファネル フルート:伊藤 向莉 伴奏:福永 美梨

P.タファネルは、フランスのフルート奏者であり、指揮者・作曲家としても活躍した人物です。この「グランドファンタジー」は、作曲家トマによるオペラ「ミニヨン」のメロディーをモチーフとした幻想曲です。前半はフルートがプリマドンナの如く美しいメロディーを歌いあげ、後半はテクニカルな演奏で華やかなオペラを連想させます。

**演奏者よりメッセージ** 「フルートで美しく歌うアリア」と「ピアノの華やかなオーケストレーション」によって織りなされる、まるでオペラを思わせるような幻想的な音楽の世界に皆様をご招待いたします。心を込めて演奏いたしますので、どうぞお楽しみください。



伊藤 向莉 Ito Himari (二子玉川ライズ・ショッピングセンター店)

12歳よりフルートを始める。桐朋学園大学管楽器専攻を卒業。同大学研究生を修了。フルートを白尾彰氏に師事。第19回日本ジュニア管打楽器コンクールアンサンブル部門で金賞(1位)を受賞。調布国際音楽祭2021に出演。学内の成績優秀者として木管五重奏で演奏会に出演。大学卒業時成績優秀者として日本フルート協会主催第49回フルートデビューリサイタルに出演。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

## 舟歌 Op.60 / F.F.ショパン ピアノ:天野 真幸

「舟歌」は、ヴェネツィアの川を下るゴンドラの船頭が歌う歌を意味します。ゆったりと舟が水面を滑るような序奏に続き、寄せては返す波のような8分の6拍子のリズムに乗せて、伸びやかで美しい旋律が様々な表情で歌われます。恋人サンドとの破局、持病である肺結核の悪化など、孤独と絶望に苛まれた中で作曲された、ショパン最晩年の大作です。

**演奏者よりメッセージ** ショパンの人生における様々な苦悩や痛み、そして憧れの想いが詰まった、大好きな1曲です。サンクスコンサートで演奏できることに心より感謝し、少しでも楽しんでいただけるよう、心を込めて演奏いたします。



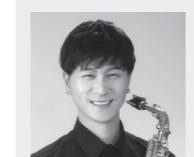
天野 真幸 Amano Mayuki (モザイクモール港北店)

4歳からピアノを始める。桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。第31回日本クラシック音楽コンクール大学女子の部第5位、第15回ベートーベン音楽コンクール全国大会ベスト10賞。これまでにピアノを、阿部美果子、宮崎久美子、大原若菜の各氏に、室内楽を恵藤久美子、廻由美子の各氏に師事。

## 「天国の月」より II / 長生 淳 サックス:矢島 康平 伴奏:梶 伶良

1995年に、サックス奏者・須川辰也氏の委嘱により作曲された作品です。今回演奏する第2楽章では、素早く展開されるピアノのパッセージに呼応して、サックスもスピード感のあるフレーズを奏でる部分や、同じリズムを軌跡に繰り返すピアノに対して、サックスが徐々に緊張感を高めていく部分など、サックスとピアノの対話が特徴的な曲となっています。

**演奏者よりメッセージ** 今回の作品には、「特殊奏法」と呼ばれる難しいテクニックが多数登場します。特に、高音域を出す「フラジオ」と呼ばれるテクニックが多く用いられていますので、そちらにもご注目いただきたいと思います。



矢島 康平 Yajima Kohei (錦糸町マルイクラシック店)

東京都江戸川区出身。13歳よりサックスを始める。東京音楽大学付属高等学校、東京音楽大学を卒業し島村楽器へ入社。サックスを中村均氏、石渡悠史氏に師事。第5回サクソフォーン協会新人演奏会に出演。江戸川区の吹奏楽団にも10年以上所属し、ソリストも経験。

## ピアノ伴奏



梶 伶良 Kaji Reira (錦糸町マルイクラシック店)

東京音楽大学音楽学部器楽専攻ピアノ科卒業後、同大学院音楽教育専攻ソルフェージュ研究領域修士課程修了。在学中、学内選抜による演奏会、ピアノ学内卒業演奏会に出演。第77回東京国際芸術協会新人演奏会オーディション奨励賞。第13回日本バッハコンクール金賞(第3位)。ヤマハ演奏グレード5級、中学校・高等学校教諭専修免許状(音楽)取得。論文作成を福士則夫氏、ピアノを佐藤俊、小西千鶴の各氏に師事。



北島 由佳 Kitajima Yuka (イオン葛西店)

武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科有鍵楽器ピアノ専修卒業。これまでにピアノを福井直昭氏、本間和子氏、ジャズピアノを福島剛氏に師事。



小林 麻穂 Kobayashi Maho (イオンレイクタウン店)

国立音楽大学ピアノ科専攻卒業。武蔵野音楽大学大学院器楽専攻(ピアノ)修了。ピアノを加藤真一郎、コッホ中村幸子の各氏に師事。伴奏法を三ツ石潤司、室内楽をクレメンス・ドル各氏に師事。大学時代から2台ピアノを約4年間学ぶ。高等学校教員専修免許状(音楽)取得。



福永 美梨 Fukunaga Miri (二子玉川ライズ・ショッピングセンター店)

国立音楽大学演奏・創作学科鍵盤楽器専修(ピアノ)卒業。同大学ピアノ指導コース修了。在学中、ピアノソロの他、伴奏や2台ピアノを学ぶ。これまでにピアノを森千尋、岡本暁子、梅本実の各氏に師事。ピアノ指導法を山内のり子氏に、電子オルガンを平部やよい氏に師事。

## 第2部

演奏曲目解説  
演奏者メッセージ  
プロフィール

### 「魔弾の射手」による幻想曲 / P.タファネル フルート:秋山 貴之 伴奏:山崎 亜耶乃

悪魔に魂を売って手に入れる撃てば百発百中の『魔弾』ですが、最後の1発は悪魔が決めた的に当たる呪いがかかるので使用が禁止されました。そんな魔弾を狩人が射撃大会で使ってしまい…というのが魔弾の射手のあらすじです。C.M.v.ウェーバーによる原曲のオペラの美しい旋律と、タファネルに書かれたフルートの技巧的な場面をお楽しみください。

**演奏者よりメッセージ** 「魔弾の射手」は、日頃からよく聴いている大好きな作品です。シリアルな序曲、美しいアリア、そして壮大なフィナーレまで、オペラの情景や雰囲気が伝わるよう、精いっぱい演奏いたします。



秋山 貴之 Akiyama Takayuki (Coaska Bayside Stores 横須賀店)

6歳よりピアノ、15歳よりフルートを始める。洗足学園音楽大学卒業。在学中、学内フルートオーケストラにてソリストを務め、学校や福祉施設への訪問演奏など積極的に活動。これまでにフルートを小倉知子、岩花秀文、上野由恵の各氏に、ピアノを永井理江、西脇千花の各氏に、室内楽を河村幹子氏に師事。アルン出版から発売のフルート専門誌『THE FLUTE』vol.171~173でWeb動画と連動した誌上レッスン連載。

### スペイン交響曲 Op.21 第1楽章 / E.ラロ ヴァイオリン:池上 奈那 伴奏:関 和花奈

その名通りスペイン風のエキゾチックなメロディとリズムが魅力的な作品です。第1楽章は、冒頭の力強いフレーズから始まり、一度聴いたら忘れないようなダイナミックな印象を与えてくれます。その後、雰囲気は一転し、美しく甘いメロディが現れ、最後は再び冒頭のような力強さと華やかさで堂々と終結します。

**演奏者よりメッセージ** ヴァイオリンの優雅さ、美しさ、そして力強さが表現できる曲を探して、この作品を選びました。会場の響きを感じながら、力強く、そして華やかなメロディを奏でられるよう、心を込めて演奏いたします。



池上 奈那 Ikegami Nana (イオンモール松本店)

3歳よりヴァイオリンを始める。長野県小諸高等学校音楽科卒業。在学中、選抜生徒による演奏会に出演。単身オーストリア・ウィーンに留学。リヒャルト・ワグナー音楽院演奏科卒業。音楽院在学中チェコ・プラハ国際音楽コンクール第2位。これまでに増澤治雄、伝田充正、北原よし子、中川直子、ゲラルド・シューベルト、エフゲニー・チェフケノフの各氏に師事。

### 「リゴレット」による演奏会用バラフレーズ / F.リスト ピアノ:服部 亜美

ヴェルディのオペラ「リゴレット」の第3幕で歌われる四重唱「Bella figlia dell'amore(美しい愛らしい娘よ)」を、リストがピアノ独奏用に編曲した楽曲です。オペラ史上最高傑作の四重唱として知られている作品に、リストならではの技巧的かつ華やかなアレンジが加わった、聴きごたえのある1曲となっています。

**演奏者よりメッセージ** このような素敵なお機会にこの作品を演奏できることを、大変嬉しく思っています。リストらしい明るく華やかな楽曲を皆様にお楽しみいただけるよう、心を込めて演奏いたします。



服部 亜美 Hattori Ami (ららぽーと愛知東郷店)

5歳からピアノを始める。愛知県立明和高校音楽科を経て、愛知県立芸術大学を卒業。在学中は様々な楽器の伴奏やアンサンブルの経験を積み、卒業演奏会を始め、様々な演奏会やコンクールに出演。これまでに丹羽つね子、米川幸余、川井綾子の各氏に師事。

### 「クープランの墓」より プレリュード / M.ラヴェル サックス:佐藤 愛 伴奏:引田 祐子

6曲からなる組曲であるこの作品は、もともとピアノ独奏のために作られており、それぞれ第一次世界大戦で戦死したラヴェルの友人たちへの追悼として捧げられています。ラヴェルはフランス近代音楽を代表する作曲家ですが、この曲はクープランを代表とする18世紀フランス音楽への敬意を表し作曲されました。

**演奏者よりメッセージ** 本日演奏する1曲目「プレリュード」は、12/16拍子に乗って、様々な調性を通り過ぎる速いパッセージが特徴的です。繊細で彩りあふれる世界観をお楽しみください。

### 亡き王女のためのパヴァーヌ / M.ラヴェル サックス:佐藤 愛 伴奏:引田 祐子

M.ラヴェルにとって初期を代表するピアノ曲の傑作であり、その後、彼自身によって管楽器版に編曲されました。今日に至るまで、様々な楽器の編成で編曲され、数多く演奏されています。17世紀スペインの宮廷画家が描いた王女の肖像を見て着想を得たと言われていますが、特定の王女に捧げられたものではなく、スペインの風習や情緒に対するノスタルジアを音楽で表現した作品です。

**演奏者よりメッセージ** 本日は、サックス奏者の須川展也さんによって編曲されたバージョンをお届けします。サックスならではの温かみのある音色を感じていただけたら嬉しいです。



佐藤 愛 Sato Ai (イトヨーカドー赤羽店)

埼玉県出身。洗足学園音楽大学卒業。クラシックサックスを石田裕美、富岡和男、池上政人に師事。室内楽を二宮和弘、池上政人に師事。サックスオーケストラを岩本伸一に師事。ジャズサックスを藤陸雅裕、三木俊彦に師事。クラシックからポップス、ジャズまで幅広くレッスンを行っている。

### ドゥムカーロシアの農村風景 - Op.59 / P.I.チャイコフスキイ ピアノ:大野 有咲

「ドゥムカ」とは、スラヴ地域の伝統的な民謡や詩を指し、この作品ではロシアの農村の風景や情緒が表現されています。哀愁漂うメロディに加え、時折見せる活発なリズムが印象的で、シンプルな構成ながらも、深い感情を感じさせる楽曲です。

**演奏者よりメッセージ** チャイコフスキイならではのドラマティックな表現と、民俗的な雰囲気が絶妙に融合された1曲です。どうぞお楽しみください。



大野 有咲 Ono Arisa (アクアウォーク大垣店)

名古屋芸術大学音楽学部演奏学科ピアノコース卒業。パリ・エコール・ノルマル音楽院ディプロマ取得。YAMAHA主催サロンコンサートやセントラル愛知交響楽団KAWAI室内楽シリーズに出演の他、ソリストとして愛知室内オーケストラと共に演。ジャンルイ・マンサール氏やマルク・アントワン・パンジョン氏、横山幸雄氏によるレッスンを受講。これまでに服部容子、奥山聰子、中沖玲子の各氏に師事。

### 想いの届く日 / C.ガルデル(鳴鶴編曲) サックス:吉永 尚子 伴奏:林田 彩愛

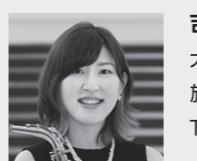
タンゴ歌謡界のスターであったC.ガルデルが自身の主演する同名映画『想いの届く日』の主題歌として作曲しました。甘く美しいメロディは、タンゴというジャンルの枠を超えて、現在も世界中で歌い継がれています。

**演奏者よりメッセージ** 本日の舞台で演奏できることを、大変嬉しく思います。美しいメロディの中にどこか哀愁を感じさせる楽曲です。歌やギターでも演奏されるこの曲を、今日はサックスで心を込めて演奏いたします。

### Down down down / 石毛 里佳 サックス:吉永 尚子 伴奏:林田 彩愛

ピアノのリズムに合わせ、サックスがダイナミックに、そしてときに旋律的で美しく奏でます。作品が持つスピード感や疾走感が魅力的な1曲です。サックス奏者の國末貞仁氏の委嘱による楽曲で、中間部分の音の長いメロディ、そしてピアノの「音が上から降りてくるような動き」からタイトルが付けられました。

**演奏者よりメッセージ** サックスの魅力を格好良く伝えたいと思い、この曲を選びました。緊張感漂うピアノから始まり、どのように音楽が展開していくのか…どうぞお楽しみください。



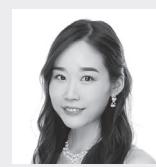
吉永 尚子 Yoshinaga Shoko (イオンモール伊丹昆陽店)

大阪府出身。中学生より吹奏楽部でサックスを始める。大阪音楽大学音楽学部音楽学科管楽器専攻卒業。在学中より様々なイベントや施設での演奏活動を行う。サックスを飯守伸二氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。Saxophone Quartet Trattoriaメンバー。

## 「夜のガスパール」より 第1曲 オンディーヌ / M.ラヴェル ピアノ:山崎 亜耶乃

「夜のガスパール」はフランスの詩人アロイジウス・ベルトルトによる詩集が題材となっている作品です。ラヴェル自身がその中から3編を選び、1908年に作曲しました。第1曲「オンディーヌ」は「水の精」という意味で、人間の男に恋をしたオンディーヌの喜怒哀楽が、色彩豊かな音使いと精緻な作曲技法によって豊かに表現されています。

**演奏者よりメッセージ** ラヴェル生誕150周年の年に、かねてより挑戦したかったこの作品を演奏する事ができ、とても嬉しく思います。彼が最も得意とした、美しく幻想的な水の表現を、是非お楽しみください。



山崎 亜耶乃 Yamazaki Ayano (Coaska Bayside Stores 横須賀店)

北鎌倉女子学園中学校音楽コース、高等学校音楽科を経て国立音楽大学演奏学科鍵盤楽器専修(ピアノ)卒業。同大学アンサンブルピアノコース首席修了。日本歌曲を専攻しながら、合唱団やホテルロビー等での演奏を通して伴奏法を学ぶ。平成23年度学内コース修了演奏会出演。ヤマハ指導グレード4級取得。これまでにピアノを田口順子、芝治子、進藤郁子の各氏に、伴奏法を平島誠也、花岡千春の各氏に師事。

## 2本のフルートとピアノのための協奏的三重奏曲 Op.119 第1楽章 / F.クーラウ

フルート:井手 愛菜 / 宮下 莉奈 伴奏:深町 優莉恵

F.クーラウは“フルート音楽のベートーヴェン”と称される作曲家で、その作品にはフルートの綺麗な響きが表現されています。同時代に活躍したL.v.ベートーヴェンと親交があり、作風にも共通する点が見られます。流れるようなフルートのメロディーとピアノとの調和が美しく、華やかで軽やかな楽曲は、多くの聴衆を魅了します。

**演奏者よりメッセージ** フルートの魅力がたっぷり詰まった楽曲となっています。聴いてくださる皆様に楽しんでいただけるよう、心を込めて演奏いたします。



井手 愛菜 Ide Aina (イオンモール千葉ニュータウン店)

東京音楽大学音楽学部器楽専攻フルート科卒業。東京音楽大学大学院科目等履修2年修了。第19回宮日音楽コンクール管楽器部門優秀賞。これまでにフルートを細川順三、竹澤栄祐、外山友紀子の各氏に、室内楽を工藤重典、中野真理、故 齊藤賀雄の各氏に師事。



宮下 莉奈 Miyashita Rina (大宮店)

フルートを9歳、ピアノを3歳から始める。上野学園大学音楽学部音楽学科演奏家コースフルート専門卒業。仙台フルートコンクール第2位受賞。フルート協会主催のフルートデビューリサイタルに出演。これまでにフルートを三上明子、安原三保子、荒川洋、荒川健秀の各氏に師事。ピアノを千野宜大、荒川幸子の各氏に師事。室内楽を曾根麻矢子、松崎裕、野口博の各氏に師事。

## 幻想曲「スコットランド・ソナタ」Op.28 第2楽章、第3楽章 / F.メンデルスゾーン

ピアノ:関 和花奈

メンデルスゾーン(1809-1847)は、ロマン派を代表するドイツの作曲家です。20歳の時に初めての旅行先として訪れたスコットランドで、様々な現地の文化や文学に触れる中でインスピレーションを得て、この幻想曲が作曲されました。また同時期に「スコットランド交響曲」も作曲しており、この旅行が彼に大きな影響を与えたことがうかがえます。

**演奏者よりメッセージ** 軽快で楽しげな第2楽章から、急速に駆け抜ける第3楽章へと、曲の雰囲気が一変します。メンデルスゾーンらしい美しい旋律を、心を込めて表現したいと思います。



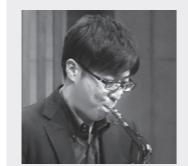
関 和花奈 Seki Wakana (ミュージックサロン稻毛海岸)

5歳からピアノを始め、10歳から桐朋学園大学付属子供のための音楽教室でソルフェージュやアンサンブルの演奏を学ぶ。桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。これまでに高須久子、朴久玲の各氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。現在インストラクターとして指導にあたりながらソロや連弾、2台ピアノなどの演奏活動を行う。

## 風の向かうところ / 成田 勤 サックス:尾中 勇太 伴奏:梅原 恵美

管弦楽や映像音楽の分野で活躍する作編曲家、成田勤氏が、幼少期から親交のあるサクソフォン奏者である黒川卓也氏の為に、「サクソフォンの機動性を生かした曲を」というコンセプトで作曲された楽曲です。美しく叙情を感じさせるハーモニーから、躍動感溢れるパッセージまで、一つの物語の風景が浮かぶような楽曲となっています。

**演奏者よりメッセージ** 本日はこのような舞台で演奏できることを大変嬉しい思います。皆様にサクソフォンと楽曲の魅力をお伝えできるよう、心を込めて演奏させていただきます。どうぞお楽しみください。



尾中 勇太 Onaka Yuta (ラゾーナ川崎店)

洗足学園音楽大学器楽科サクソフォン専攻卒業。クラシックを大和田雅洋、平賀真奈美の各氏に師事。ジャズ、音楽理論を小池修、藤陵雅裕の各氏に師事。レッスンの傍ら自己のカルテットやアーティストのサポートなど、Jazz、Pops、Rockと幅広く演奏活動を行う。

## バラード 第3番 Op.47 / F.F.ショパン ピアノ:秋本 韶子

冒頭はまるで右手と左手が対話をしているような穏やかで優美な旋律から始まり、曲が進むにつれて、軽やかなリズムを特徴とする旋律が加わります。この2つの旋律を軸に、時に陰りを見せながらも華やかなクライマックスへと向かっていきます。作曲された1841年頃、充実した日々を過ごしていたショパンの幸福感溢れる作品となっています。

**演奏者よりメッセージ** 10年前に勉強した思い出深い作品です。当時は表現しきれなかったこの作品に込められた想いを、今の私がどこまで表現できるか挑戦したいと思い選曲いたしました。ショパンの響きを大切に演奏いたします。



秋本 韶子 Akimoto Kyoko (ららぽーと柏の葉店)

聖徳大学附属女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業。第49回茨城県新人演奏会に出演。これまでにピアノを和田美紀、和田仁、玉置善己の各氏に師事。現在、光賀晴紀氏のもとでロシアピアニズムについて学ぶ。またソロや伴奏を中心に演奏活動を行う。

## ピアノ伴奏



梅原 恵美 Umebara Emi (ラゾーナ川崎店)

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。萬歳典子、市来法子各氏に師事。卒業後はソリスト・伴奏ピアニストとして、国際演奏会協会チャリティースプリングコンサートをはじめ様々なコンサートに出演。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)、保育士免許取得。



林田 彩愛 Hayashida Sae (ららぽーと甲子園店)

武庫川女子大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。同大学音楽専攻科器楽専攻ピアノコース修了。第31回兵庫県独唱独奏コンクールピアノ部門金賞。第19回KOBE国際音楽コンクールB部門優秀賞。第27回日本クラシック音楽コンクール全国大会ピアノ部門大学女子の部第5位。大学卒業時ピアノ実技成績最優秀者に与えられる井上直幸記念音楽賞を受賞。武庫川女子大学音楽学部第58回新人演奏会、第60回関西新人演奏会に出演。



引田 祐子 Hikita Yuko (ミュージックサロン船堀)

国立音楽大学附属高校を経て、国立音楽大学器楽学科ピアノ科卒業。2004年ウィーン私立音楽大学(旧ウィーン市立音楽大学)ピアノ科入学。フランス・ツェッペル氏にピアノを、アルテンベルクトリオの元で室内楽の研鑽を積む。海外の音楽祭やマスタークラスに積極的に参加し、国内外においてソロ・室内楽と幅広く活躍中。



深町 優莉恵 Fukamachi Yurie (イオンモール船橋店)

桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。これまでに遠藤晴美、小島明子、奈良場恒美、木村徹の各氏に師事。第18回ちば音楽コンクールにて奨励賞受賞。第73回TIAA全日本クラシック音楽コンサートに出演。サントリホール・ブルーローズにて演奏を行う。高等学校教諭免許状(音楽)取得。現在は関東を中心に演奏会やオーディションにてソロ、アンサンブル、伴奏など幅広い活動を行う。